

三中部活動安全マニュアル

写真

	予測される危険	安全対策
用具	<ul style="list-style-type: none">●カメラの破損等による怪我	<ul style="list-style-type: none">●日頃の確認、手入れを怠らない。
環境	<ul style="list-style-type: none">●閉め切った環境による体調不良●雷雨	<ul style="list-style-type: none">●室温や湿度などに留意。換気をする。●外での撮影の際は気象情報を把握して置き、早めに安全な場所に避難。
練習中	<ul style="list-style-type: none">●カメラを落とし足を怪我する●撮影中の転倒、怪我	<ul style="list-style-type: none">●ストラップを首または手首に通し落ちないようにする。●被写体をレンズで観たまま移動することは危険なのでさせない。 危険な場所での撮影はさせない。 校外に出ない。
カメラの故障	<ul style="list-style-type: none">●落下●水分による故障●砂などによる故障●レンズの傷●バッテリーの消耗	<ul style="list-style-type: none">●ストラップを首または手首に通し落ちないようにする。●濡れた手でカメラを触らない。●カメラを直接砂や土の上に置かない。●レンズを下にして置かない。●移動中は電源を切る。
情報保護	<ul style="list-style-type: none">●被写体	<ul style="list-style-type: none">●むやみに人にカメラを向けない。 人を撮る際は許可を取ってから。

※救急箱を用意し、怪我の際はすぐに応急処置ができるようにしておく。